



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月13日

上場会社名 シークス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7613 URL https://www.siix.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳瀬 晃治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 経理部長 (氏名) 大野 精二 (TEL) 06-6266-6415
 四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	229,691	13.8	9,205	40.2	9,301	43.9	6,089	78.1
2022年12月期第3四半期	201,917	23.3	6,564	82.4	6,464	52.7	3,418	4.4

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 15,090百万円(△8.9%) 2022年12月期第3四半期 16,568百万円(122.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	129.04	128.91
2022年12月期第3四半期	72.29	72.20

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	226,379	90,894	39.9
2022年12月期	205,170	77,389	37.5

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 90,368百万円 2022年12月期 76,891百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	15.00	—	16.00	31.00
2023年12月期	—	16.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	300,000	8.3	11,300	26.5	10,200	22.3	7,700	62.7	162.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 一、除外 2社(社名) SIIX Logistics Phils., Inc.
SIIX COXON PRECISION PHILS., INC.

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期3Q	50,400,000株	2022年12月期	50,400,000株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	3,326,103株	2022年12月期	3,097,775株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期3Q	47,190,178株	2022年12月期3Q	47,284,536株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の経済環境を顧みますと、米国では、個人消費は堅調に推移しているものの、高インフレ・政策金利上昇による下押しの圧力により、景気は減速傾向にあります。欧州では、ウクライナ情勢を受けた資源価格の高騰や物価上昇が長期化していることにより、個人消費・企業の経済活動へ下押しの圧力が強まっており、景気は低迷しております。アジアにおいて、中国では、雇用・所得環境の悪化による個人消費の悪化や輸出の低迷、企業活動の鈍化により景気は減速傾向にあります。その他のアジア各国では、活動制限が解除されたことにより内需の景気回復が持続している国もありますが、インフレの長期化・輸出不振等で景気後退に入る国もあり、先行き不透明な状況となっております。日本では、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類へ引き下げられたことから、個人消費の拡大やインバウンド需要の回復が景気を後押ししております。

当社グループが関連するエレクトロニクス市場は、長期化していた半導体不足に需給の改善がみられたものの、中国経済の鈍化や設備投資需要の減速などによりやや弱含みで推移しております。しかし、中長期的にはCASEやIoTといった技術革新の進行とともに、気候変動対策および脱炭素対策としての自動車や産業機器の電動化ニーズがさらに拡大していく市場であると認識しております。こうした状況下、当社グループでは、日系・非日系を問わず大手グローバル企業との取引拡大を目指しております。

当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績については、売上高は2,296億9千1百万円と前年同期に比べて277億7千4百万円の増加(13.8%増)となりました。利益面では、営業利益は92億5百万円と前年同期に比べて26億4千万円の増加(40.2%増)となり、経常利益は93億1百万円と前年同期に比べて28億3千7百万円の増加(43.9%増)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は60億8千9百万円と前年同期に比べて26億7千1百万円の増加(78.1%増)となりました。

当第3四半期連結累計期間における業績の分析等については、セグメント別の業績および要因に記載しております。

セグメント別の業績および要因は次のとおりであります。本文中の「セグメント利益」および「セグメント損失」は、四半期連結損益計算書の営業利益を基礎としております。また、「売上高」にはセグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。

(日本)

産業機器用部材および車載関連機器用部材の出荷が増加したこと等により、当セグメントの売上高は833億5千7百万円と前年同期に比べて123億9千5百万円の増加(17.5%増)となりました。

利益面では、売上高の増加にともない、セグメント利益は11億2千8百万円と前年同期に比べて4億7千7百万円の増加(73.5%増)となりました。

(中華圏)

家電機器用部材および産業機器用部材の出荷が減少したこと等により、当セグメントの売上高は690億9千3百万円と前年同期に比べて18億5千3百万円の減少(2.6%減)となりました。

利益面では、車載関連機器の減産により、セグメント利益は7億9千6百万円と前年同期に比べて5億2千3百万円の減少(39.7%減)となりました。

(東南アジア)

産業機器用部材および車載関連機器用部材の出荷が増加したこと等に加えて、主に米国ドルに対する円安の影響もあり、当セグメントの売上高は911億1千7百万円と前年同期に比べて115億5千6百万円の増加(14.5%増)となりました。

利益面では、売上高が増加したこと等により、セグメント利益は42億8千3百万円と前年同期に比べて4億9千3百万円の増加(13.0%増)となりました。

(欧州)

車載関連機器用部材および産業機器用部材の出荷が増加したこと等により、当セグメントの売上高は169億4千7百万円と前年同期に比べて42億7千6百万円の増加(33.8%増)となりました。

利益面では、半導体や電子部品のサプライチェーンの混乱による生産効率の低下やウクライナ侵攻による資源価格などの高騰が長期化していることもあり、4億4千万円のセグメント損失(前年同期は3億1千4百万円のセグメント損失)となりました。

(米州)

車載関連機器用部材および産業機器用部材の出荷が増加したこと等に加えて、主に米国ドルに対する円安の影響もあり、売上高は548億1千3百万円と前年同期に比べて99億8千6百万円の増加(22.3%増)となりました。

利益面では、売上高が増加したこと等により、セグメント利益は28億5千5百万円と前年同期に比べて15億5千4百万円の増加(119.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

総資産は、前連結会計年度末に比べて212億9百万円増加(10.3%増)し、2,263億7千9百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金32億4千4百万円の増加(23.5%増)、棚卸資産25億5千1百万円の増加(3.5%増)および受取手形、売掛金及び契約資産106億6千4百万円の増加(19.4%増)等により、前連結会計年度末に比べて160億5千6百万円増加(10.7%増)し、1,663億3千2百万円となりました。

固定資産は、各海外生産拠点での設備投資にともなう機械装置の増加もあり、有形固定資産48億2千7百万円の増加(10.6%増)等により、前連結会計年度末に比べて51億5千2百万円増加(9.4%増)し、600億4千6百万円となりました。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べて77億4百万円増加(6.0%増)し、1,354億8千5百万円となりました。

流動負債は、買掛金43億2千4百万円の増加(10.4%増)、短期借入金3億5千4百万円の増加(1.0%増)等により、前連結会計年度末に比べて46億2千6百万円増加(4.8%増)し、1,012億2千4百万円となりました。

固定負債は、長期借入金26億6千7百万円の増加(17.6%増)等により、前連結会計年度末に比べて30億7千7百万円増加(9.9%増)し、342億6千万円となりました。

(純資産)

純資産は、為替レートの変動にともなう為替換算調整勘定89億7千3百万円の増加(62.9%増)および利益剰余金47億8千6百万円の増加(7.9%増)等により、前連結会計年度末に比べて135億4百万円増加(17.4%増)し、908億9千4百万円となりました。

この結果、自己資本比率は37.5%から39.9%に増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年2月14日に公表した2023年12月期連結業績予想の変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、重要性が増したSIIX MALAYSIA SDN. BHD. を連結の範囲に含めております。

また、第1四半期連結会計期間より、SIIX Logistics Phils., Inc. およびSIIX COXON PRECISION PHILS., INC. は、2023年1月1日付でSIIX EMS PHILIPPINES, INC. を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,793	17,037
受取手形、売掛金及び契約資産	55,091	65,755
商品及び製品	27,738	26,751
仕掛品	2,264	3,076
原材料及び貯蔵品	43,425	46,150
その他	8,027	7,635
貸倒引当金	△64	△75
流動資産合計	150,275	166,332
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,513	21,410
機械装置及び運搬具（純額）	15,739	17,460
土地	4,644	4,922
その他（純額）	6,460	6,392
有形固定資産合計	45,358	50,185
無形固定資産	2,520	2,330
投資その他の資産		
投資有価証券	2,227	2,297
出資金	1,015	1,240
その他	3,876	4,084
貸倒引当金	△103	△90
投資その他の資産合計	7,015	7,530
固定資産合計	54,894	60,046
資産合計	205,170	226,379

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	41,733	46,057
短期借入金	36,136	36,491
未払法人税等	2,065	2,190
その他	16,662	16,485
流動負債合計	96,598	101,224
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	15,125	17,793
退職給付に係る負債	642	720
その他	5,414	5,746
固定負債合計	31,182	34,260
負債合計	127,780	135,485
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,144	2,144
資本剰余金	5,594	5,581
利益剰余金	60,389	65,176
自己株式	△5,866	△6,186
株主資本合計	62,261	66,715
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	347	370
為替換算調整勘定	14,276	23,249
退職給付に係る調整累計額	6	32
その他の包括利益累計額合計	14,630	23,652
新株予約権	67	58
非支配株主持分	430	466
純資産合計	77,389	90,894
負債純資産合計	205,170	226,379

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年9月30日)
売上高	201,917	229,691
売上原価	182,838	206,899
売上総利益	19,078	22,791
販売費及び一般管理費	12,513	13,586
営業利益	6,564	9,205
営業外収益		
受取利息	13	172
受取配当金	44	128
持分法による投資利益	55	—
為替差益	—	99
補助金収入	140	145
物品売却収入	265	170
スクラップ売却益	162	145
その他	175	396
営業外収益合計	857	1,258
営業外費用		
支払利息	534	930
持分法による投資損失	—	10
為替差損	80	—
物品購入費用	156	61
その他	185	159
営業外費用合計	957	1,161
経常利益	6,464	9,301
特別利益		
新株予約権戻入益	0	3
特別利益合計	0	3
特別損失		
新型コロナウイルス感染症関連損失	376	—
特別損失合計	376	—
税金等調整前四半期純利益	6,089	9,304
法人税、住民税及び事業税	1,962	2,882
法人税等調整額	710	329
法人税等合計	2,672	3,211
四半期純利益	3,416	6,093
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,418	6,089

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	3,416	6,093
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△271	23
為替換算調整勘定	13,267	8,819
退職給付に係る調整額	34	29
持分法適用会社に対する持分相当額	122	124
その他の包括利益合計	13,152	8,997
四半期包括利益	16,568	15,090
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,518	15,053
非支配株主に係る四半期包括利益	50	36

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り

当第3四半期連結累計期間において、第31期有価証券報告書(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りに重要な変更はありません。

なお、当社グループでは、四半期連結財務諸表作成時点において入手可能な外部情報等を踏まえて慎重に見積りを行っておりますが、当該感染症の収束時期は現時点で予測不能であり、実際の結果は上記の見積りと異なる場合があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	中華圏	東南 アジア	欧州	米州	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	36,427	55,004	62,783	11,638	35,903	201,757	160	201,917
セグメント間の内部 売上高又は振替高	34,534	15,942	16,777	1,032	8,923	77,210	△77,210	—
計	70,961	70,946	79,561	12,670	44,826	278,967	△77,050	201,917
セグメント利益 又は損失(△)	650	1,320	3,790	△314	1,300	6,747	△182	6,564

(注)1 調整額は以下のとおりであります。

- (1) 外部顧客への売上高の調整額160百万円は、全社(共通)の区分の売上であります。
 - (2) セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△77,210百万円は、セグメント間取引消去等であります。
 - (3) セグメント利益又は損失(△)の調整額△182百万円は、セグメント間取引消去等であります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	中華圏	東南 アジア	欧州	米州	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	47,486	53,010	69,035	15,972	43,766	229,271	420	229,691
セグメント間の内部 売上高又は振替高	35,871	16,082	22,081	975	11,046	86,056	△86,056	—
計	83,357	69,093	91,117	16,947	54,813	315,328	△85,636	229,691
セグメント利益 又は損失(△)	1,128	796	4,283	△440	2,855	8,624	581	9,205

(注)1 調整額は以下のとおりであります。

- (1) 外部顧客への売上高の調整額420百万円は、全社(共通)の区分の売上であります。
 - (2) セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△86,056百万円は、セグメント間取引消去等であります。
 - (3) セグメント利益又は損失(△)の調整額581百万円は、セグメント間取引消去等であります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。